

# 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場会社名 株式会社 ルネサスイーストン

上場取引所 JQ

コード番号 9995 URL <http://www.rene-easton.com>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 大谷 浩美

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 上野 武史

TEL 03-6275-0600

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	28,618	9.3	△736	—	△203	—	17	△91.4
21年3月期第2四半期	26,187	—	232	—	327	—	207	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	0.75	—
21年3月期第2四半期	12.01	12.00

(注)前年同四半期実績については、合併以前の株式会社イーストンエレクトロニクスの実績を表示しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	33,056	15,914	48.1	665.29
21年3月期	20,894	14,559	69.7	838.71

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 15,914百万円 21年3月期 14,559百万円

(注)前期実績については、合併以前の株式会社イーストンエレクトロニクスの実績を表示しております。

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,500	43.0	△1,210	—	△220	—	115	—	4.82

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	23,929,200株	21年3月期	17,784,580株
---------------------	-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	8,469株	21年3月期	425,822株
-----------	-------------	--------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	23,863,258株	21年3月期第2四半期	17,314,320株
----------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

(注)平成21年4月1日に合併による新株発行を行っております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記の予想は本資料発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提としています。  
実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における世界経済は、昨年の金融危機による歴史的なバブル崩壊から底入れしつつあり、最悪期からは脱したと思われます。しかしながら、金融危機による世界経済の構造変化により、金融危機以前の景気状況に戻るには、今なお時間がかかるものと思われます。

日本経済は、世界経済危機による影響を最も深刻に受けましたが、当第2四半期累計期間における国内経済は、在庫調整の進展や公共投資の増加によって底入れし、改善の兆しは広がりつつありますが、雇用・所得環境および設備投資は大変厳しい状態で、本格回復に向けた動きは力強さを欠いた状況であります。

半導体市場におきましては、世界の半導体売上高は今年の3月から8月まで6ヵ月連続で前月を上回っており、昨年秋季以来の世界経済の急速な悪化による半導体需要の大幅な減少から、自動車から家電まで省エネ優遇策が半導体の需要を喚起し、半導体売上高は2月の前年の70%程度の水準から8月には前年の84%の水準になり、回復基調に転じております。

このような状況のもと、株式会社イーストンエレクトロニクスと株式会社ルネサスデバイス販売とは、お互いの経営資源及びノウハウの有効活用による企業価値の向上を図るべく本年4月1日付で合併し「株式会社ルネサスイーストン」として新しくスタートいたしました。新会社では合併による販売の効率化を推し進め、自動車関連分野、産業分野、デジタル民生家電、アミューズメント分野を中心に販売の拡大を図り、業績の向上に努めてまいりました。

当社グループでは、合併直後の第1四半期を底として、第2四半期で回復基調に転じました。

しかしながら、当第2四半期連結累計期間の売上高は286億18百万円と前年同期から24億31百万円の増加(両社合算比では155億35百万円の減少)となりました。昨年秋季以来の世界景気の急速な悪化による半導体需要の減少が大きく影響し、両社合算比におきましては、産業・自動車分野など全ての分野で前年同期を大きく下回る結果となりました。主な取扱品目別売上高では、集積回路が169億93百万円と前年同期から31億68百万円の増加(両社合算比では69億62百万円の減少)、半導体素子が24億48百万円と前年同期から6億74百万円の減少(両社合算比では28億21百万円の減少)、表示デバイスが76億33百万円と前年同期から4億12百万円の減少(両社合算比では42億4百万円の減少)となりました。

損益面につきましては、営業損失7億36百万円(前年同期は営業利益2億32百万円(両社合算では同2億78百万円))、経常損失2億3百万円(前年同期は経常利益3億27百万円(両社合算では同3億69百万円))、四半期純利益17百万円(前年同期は四半期純利益2億7百万円(両社合算では同2億22百万円))となりました。

なお、合併に伴い「負ののれん」が発生しており、この償却により経常損失は3億52百万円減少し、四半期純利益は3億52百万円増加しております。「負ののれん」は平成24年3月期までの3年間で均等償却することとしております。

(注)平成21年3月期第2四半期累計期間の株式会社ルネサスデバイス販売の数値は、独立監査人による監査は受けておりません。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末(平成21年3月末)と比較し以下のとおりとなりました。

当第2四半期連結会計期間末の資産は12,162百万円増加(合併による増加 12,120百万円)し33,056百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が8,019百万円増加しており、現金及び預金が1,965百万円増加しております。

負債は10,807百万円増加(合併による増加 8,461百万円)し17,142百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が7,793百万円増加し、合併に伴う負ののれんが増加いたしました。(発生した負ののれん金額:2,115百万円)

純資産は1,355百万円増加し15,914百万円となりました。主な要因は、合併に伴う新株発行によるものです。

これにより自己資本比率は48.1%となり、時価ベースの自己資本比率は15.9%となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当事業年度の連結業績予想について、前回業績予想(平成21年10月29日発表)に変更はありません。

#### 4. その他

##### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

##### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

###### 棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

##### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

##### (4) 追加情報

###### 負ののれんの償却に関する事項

当第2四半期連結累計期間において、合併による負ののれんを計上いたしております。

負ののれんは、3年間で均等償却しております。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,651,660	686,651
受取手形及び売掛金	19,017,634	10,998,118
有価証券	40,169	40,153
商品及び製品	6,119,715	4,744,370
繰延税金資産	147,240	93,760
その他	310,636	492,270
貸倒引当金	△11,973	△3,245
流動資産合計	28,275,083	17,052,081
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,096,119	992,183
減価償却累計額	△630,061	△607,016
建物及び構築物（純額）	466,057	385,167
車両運搬具	31,790	31,790
減価償却累計額	△25,665	△24,459
車両運搬具（純額）	6,124	7,330
工具、器具及び備品	175,751	159,354
減価償却累計額	△116,392	△106,671
工具、器具及び備品（純額）	59,358	52,682
土地	1,367,884	1,337,584
リース資産	19,296	—
減価償却累計額	△1,929	—
リース資産（純額）	17,366	—
有形固定資産合計	1,916,791	1,782,764
無形固定資産		
ソフトウェア	251,366	66,668
電話加入権	11,701	8,056
無形固定資産合計	263,067	74,725
投資その他の資産		
投資有価証券	802,191	630,788
敷金及び保証金	513,559	782,048
繰延税金資産	1,103,195	419,523
その他	204,247	186,515
貸倒引当金	△21,650	△34,400
投資その他の資産合計	2,601,543	1,984,475
固定資産合計	4,781,401	3,841,965
資産合計	33,056,485	20,894,047

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,211,916	5,418,872
短期借入金	394,081	12,558
1年内返済予定の長期借入金	99,996	—
未払法人税等	28,002	6,720
本社移転費用引当金	—	50,000
繰延税金負債	511	—
その他	729,418	630,018
流動負債合計	14,463,926	6,118,169
固定負債		
長期借入金	191,671	—
長期預り保証金	151,135	43,619
退職給付引当金	376,464	76,043
役員退職慰労引当金	97,166	97,166
負ののれん	1,762,575	—
その他	99,249	—
固定負債合計	2,678,261	216,829
負債合計	17,142,188	6,334,998
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,433,100	3,433,100
資本剰余金	5,001,443	3,652,920
利益剰余金	7,645,096	7,714,041
自己株式	△2,171	△96,980
株主資本合計	16,077,467	14,703,080
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,915	△14,143
繰延ヘッジ損益	—	46
為替換算調整勘定	△168,086	△129,934
評価・換算差額等合計	△163,170	△144,032
純資産合計	15,914,297	14,559,048
負債純資産合計	33,056,485	20,894,047

## (2) 【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	26,187,435	28,618,700
売上原価	23,948,660	26,502,220
売上総利益	2,238,775	2,116,479
販売費及び一般管理費		
販売費及び一般管理費合計	2,006,507	2,853,143
営業利益又は営業損失(△)	232,268	△736,663
営業外収益		
受取利息	7,103	1,374
仕入割引	1,002	1,155
受取賃貸料	5,086	4,836
販売手数料	23,945	31,792
開発支援収入	44,900	46,998
負ののれん償却額	—	352,515
その他	31,958	101,881
営業外収益合計	113,997	540,554
営業外費用		
支払利息	51	4,678
手形売却損	1,326	797
売上割引	1,446	971
為替差損	12,110	356
その他	4,227	844
営業外費用合計	19,162	7,647
経常利益又は経常損失(△)	327,103	△203,756
特別利益		
貸倒引当金戻入額	8,900	—
保険解約返戻金	13,709	—
特別利益合計	22,609	—
特別損失		
貸倒引当金繰入額	—	50
固定資産除却損	2,277	345
投資有価証券評価損	6,988	—
会員権評価損	4,191	—
特別損失合計	13,457	395
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	336,255	△204,152
法人税、住民税及び事業税	37,633	23,551
法人税等調整額	90,698	△245,551
法人税等合計	128,332	△221,999
四半期純利益	207,922	17,847

(3)継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

株主資本の著しい変動に関する主な理由として、平成21年4月1日に合併による新株発行等を行い、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が1,348,523千円増加し、自己株式が96,876千円減少しております。この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が5,001,443千円、自己株式が2,171千円となっております。